



木の温もりとともに 包まれ“本”と ともに暮らす家

京都府産木材使用量
21.5941 m³

[設計]

すずぎ建築設計事務所
大阪府高槻市土室町 53 番 11 号

[施工]

株式会社能見工務店
京都府京都市西京区大原野上里男鹿
町 1 番地 5

本棚が沢山欲しい、家具は置きたくない、ランドリールームが欲しい、木の家がいい。施主様のこんな要望を実現したのが今回の家です。

構造躯体は自然乾燥の様な体温と同じ温度で乾燥させた京都府産の檜を使用しました。木の細胞が生きたまま保たれるので、内部割れを生じません。骨組みは総檜づくりで、小屋梁には松の丸太梁を使用しました。

次世代に技術継承するため、墨付けと刻みで建てました。木組みは職人の手で刻み、収納家具もすべて弊社の大工が造作しました。

本棚は壁と一体化させ、圧迫感のない空間を演出しています。フローリングや腰板はあえて塗装せず、木の長所を生かしています。キッチンと洗面室・ランドリールームを直線で繋げ、洗濯が楽に出来るようにしました。無垢のフローリング、天井と腰板にも木を張り、壁は珪藻土でとても落ち着く居心地の良い空間ができました。

京都の木材と最先端の建築技術を融合させた家づくりを心掛けました。家の中に居ながらも京都の木に囲まれて森の中にいる様な「ホッ」とする、そんな空間を作りました。木のある生活、木に囲まれた生活が、気持ちの豊かな暮らしに繋がります。